

日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会 2024 年度第 1 回講演会のご案内

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会では、この度「ソフトマテリアル分科会 2024 年度 第 1 回講演会」を開催いたします。昨年度は、「色んな装置でソフトマテリアルを観る」と「ダメージを深掘りする」をテーマに、2 度の講演会を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。今回は、「ソフトマテリアル向けの最新の局所構造解析」をテーマに、この分野の研究者・技術者の方々にご講演をいただきます。また、チュートリアル公演として、「電子顕微鏡の今さら聞けない話」を企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

さらに、講演会終了後 15 時 30 分より、昨年度より本格始動した「ラウンドロビンテスト円卓会議」を行います。下記に詳細を記載いたしました。どうぞ奮ってご参加ください。

研究会テーマ: 「ソフトマテリアル向けの最新の局所構造解析」

主 催: 公益社団法人 日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会

責 任 者: 東北大学 多元物質科学研究所 陣内 浩司

開 催 日 時: 令和 6 年 7 月 25 日(木) 10:00 – 15:10

場 所: 東北大学 東京分室

(100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 10F)

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/tokyo/access.html>

開 催 方 法: 現地対面開催

参 加 費: 会員: 3,000 円 非会員: 5,000 円 学生: 無料

申 込 方 法: 2024 年 7 月 12 日(金)まで、下記申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/Dp3cvEiKYZ2dpDhV8>

クレジット決済: メールリンク方式にて、クレジット決済が可能となりました。

ご希望の参加申込フォームにてクレジット決済希望にチェックをお願いいたします。個別に、メールにて決済のための URL をお送り致します。メールの送信には 1 週間程度お時間をいただく場合がございます。1 週間経ってもメールが届かない場合はご連絡ください。

参加費振込先: ゆうちょ銀行【店名】〇一八 (読み ゼロイチハチ) 【店番】018

【預金種目】普通預金 【口座番号】9922872

【口座名義】シャ) ニホンケンビキョウガツカイ

2024 年 7 月 19 日(火)までにお振込ください。

押印した請求書が必要な場合は、参加フォームにその旨記載願います。インボイス制度の開始に伴い、領収書の発行は当日会場での配布とさせていただきます。領収書の宛名、内訳、但書等についての要望は、申込フォームによりご連絡ください。

プログラム（敬称略）

- 10:00-10:10 挨拶
- 10:10-11:00 チュートリアル講演 1
「今さら聞けない TEM の話」
日本電子株式会社 奥西 栄治 様
- 11:00-11:40 「SEM 中で観るナノ材料のイメージング評価技術」
産業技術総合研究所 中島 秀朗
- 11:40-12:20 「クライオ電子顕微鏡によるソフトマテリアル局所構造の可視化に向けた
アプローチとその成果」
東北大学 濱口 祐
- 12:20-13:30 休憩
- 13:30-14:20 「4D-STEM による局所構造解析の基礎と得られる情報」
東北大学 津田 健治
- 14:20-15:00 「4D-STEM による半結晶性高分子の階層構造の解明への挑戦」
東北大学 狩野見 秀輔
- 15:00-15:10 挨拶
- 15:10-15:30 休憩
- 15:30-17:30 ラウンドロビンテスト 円卓会議

【問い合わせ】

事務局:東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林

TEL: 022-217-5329

E-mail: sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp

ラウンドロビンテスト円卓会議について

当分科会では、昨年度より、ラウンドロビンテスト（以下、RRT）を開始しました。この企画を立ち上げた背景には、ソフトマテリアルの研究に新しく関わり始めた方々が、形態観察を試みた際に、生物系試料では先達の知見を参照して試料作製もトレースできることが多い一方で、材料系試料では前処理の方法や条件に関する情報の入手が難しいという課題があります。では、なぜ詳細な方法や条件が明記されていないのでしょうか？方法や条件が明らかであればトレースできるのでしょうか？この問いを考察し、検証するために、RRTの参加を呼びかけました。初回は、自動車用バンパー材のペレットを共通試料として、初級者から熟練者まで各研究機関や企業の研究者数十名に配布し、それぞれが自身の方法で試料を調製し、その観察結果を円卓会議で共有しました。

今回の会議では、上記の内容を紹介した第80回学術講演会（2024/6/3）の資料を再構成してお伝えすると共に、第2弾の共通試料について議論します。現時点での候補はABS樹脂です。選定理由としては、染色も薄切も像解釈も容易な試料を使用することで、第一弾よりも多くのデータが集まることを期待しています。

この企画にこれまで参加されていない方でも、興味をお持ちの方は是非この会議にご参加ください。講演会に参加される方であれば、RRT円卓会議への新たな申し込みは必要ありません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【問い合わせ】

東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林(sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp)